

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	循環器内科
② 診療科の特徴	当院は 3 次救急に対応し多数の重症心疾患を受け入れているのは勿論ですが、特に CPA にて搬送される患者数は 350-500 例/年と多数であり、全国でも上位に属します。循環器内科と心臓血管外科との連携機能がうまく働いており、患者にとってベストな治療選択を目指しています。
③ 診療科のモットー	循環器の視点からのみのアプローチではなく、総合的に患者さんの病態、社会的背景についても把握・検討し治療方針を決定しています。
④ 診療内容・実績 (2018 年のデータ)	急性冠症候群に対する緊急カテーテル治療：134 件/年、ペースメーカー/ICD/CRT 植込み：78 件/年、カテーテルアブレーション：52 件/年、心不全患者入院治療数：443 例、
⑤ 診療体制 (2019 年 7 月時点)	循環器内科医師数は、9 名と少なめですが、各種の専門医資格を有する医師が多いのが特徴です（循環器専門医 7 名、総合内科専門医 5 名、CVIT 認定医 3 名、不整脈専門医 2 名、臨床研修指導医 6 名）。
⑥ 診療科カンファレンス	循環器内科+心臓血管外科+リハビリテーション科合同カンファレンス、心不全カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	急性冠症候群。CPA 蘇生後。あらゆる不整脈。大動脈/末梢動脈/肺動脈疾患。他の疾患に合併する心疾患や、複雑な病態に合併した心疾患など。
⑧ 経験できる技術・技能	心臓カテーテル検査およびカテーテル治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカー/ICD/CRT 植込み、末梢血管に対するインターベンション
⑨ 学会について	循環器科専門医研修施設、内科学会認定教育病院、不整脈専門医研修施設、
⑩ その他	指導層が厚く、また熱く、どのスタッフも十分に指導ができる体制ですので、タイムリーに相談することができ、常時、学び続けることができます。

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	循環器専門医、総合内科専門医、CVIT 認定医、不整脈専門医、
② その他	

3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

毎日を、アクティブに、楽しく働ける職場・診療科を目指して、皆で協力していきたいと思えます。是非、見学にお越しください。